

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

鳥取市立津ノ井小学校（鳥取県）【指定校】

## 【取組内容】 自立した学習者を育てる

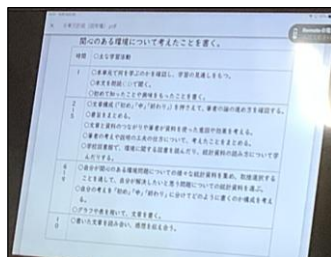
- ・個人で考える（個別の学び）
- ・班で考える（協働の学び）
- ・個人で振り返る（個別の学び）

学ぶ方法を自分で選ぶ  
他者と関わりながら学ぶ

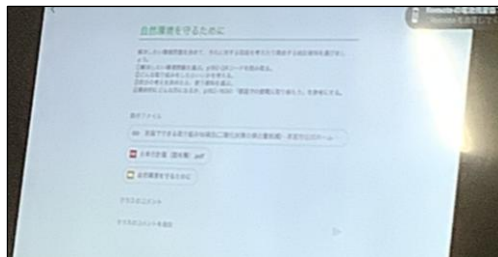
自立した学習者になる

## 5年生 理科「流れる水のはたらき」

- 端末に「単元計画、本時のめあて、活動内容、必要な資料（リンクなど）」等の情報を提示する
- ・学習の見通しをもって取り組むことができる。
- ・自分のペースで、情報収集したり、友達と考えを共有したりしながら、主体的に学ぶことができる。



(単元計画)



(本時の学習や資料を共有)

2班

○山の中（上流）

- ・山や田んぼに左右に囲まれていて大きな岩があり岩が流れる水の幅が狭い。

- ・山の中の水はゆっくり流れていく

○平地（中流）

- ・家、橋、建物、道路が見えてきて流れる水の幅が山の中（上流）と比べて少し広くなった

○海（湖）の近く

- ・山や田んぼが少なくなってきた、はたが広がっている、ここ下流と言う
- ・左右に家があって海、（湖）がはさまれている。

個人の意見  
をもとに班で  
話し合い、意  
見をまとめる。

＜児童の振り返り（単元全体を通した内容）＞

- 川では、水害が起こらないように、たくさんの工夫をしていることがわかった。もっとたくさんの工夫を知りたい。
- 雨が降ったときに、川の水があふれないように河川敷が広くつくられていて、雨が降らないときは遊んだりスポーツをしたりすることができる。
- 日本は多くの水害が起こっているから対策をしてそれを防ごうとしていることがわかった。だから、普段から身近な備えもしておきたい。

端末を利用し、単元や授業の導入で学習計画等を提示した授業を終えて

（児童の変容）

- 見通しが持て、主体的な学びにつながった。
  - 個人や班でテーマに基づいてクラウドを活用して調べたりまとめたりしていく過程で、他者参照のよさに気付き、取り入れる児童が増えた。
- ⇒自分の学びと他者の学びを整理・分析しながら振り返り、学んだことを自らの生活に適用していく意識を高めることで、自立した学習者としての資質・能力を高めていった。